

## 都道府県別一人当たり医療費の状況

	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	順位	実額 (円)	順位	実額 (円)	順位	実額 (円)	順位	実額 (円)
北海道	2	1,001,110	2	1,003,327	2	1,037,061	2	1,031,244
青森県	37	736,947	37	751,466	38	774,901	37	768,169
岩手県	44	698,074	45	696,709	45	725,208	45	717,365
宮城県	33	757,851	32	765,236	34	799,137	33	781,233
秋田県	35	754,065	35	760,493	36	787,706	36	768,860
山形県	45	695,675	44	700,150	44	731,112	43	741,360
福島県	32	758,368	34	764,193	33	800,497	32	791,233
茨城県	40	715,446	41	720,135	39	758,074	39	756,370
栃木県	42	711,800	42	717,775	42	755,111	40	745,697
群馬県	36	739,639	36	754,853	35	796,318	35	770,936
埼玉県	29	773,832	29	784,689	27	820,663	31	791,504
千葉県	41	713,452	40	722,030	41	755,475	41	742,967
東京都	18	819,834	20	827,439	23	856,973	24	829,584
神奈川県	31	762,934	30	781,401	28	818,704	30	792,672
新潟県	46	686,532	46	695,408	46	718,808	47	702,778
富山県	27	779,596	28	787,162	31	805,977	29	794,850
石川県	13	880,608	14	882,320	14	932,384	13	924,851
福井県	25	800,434	25	810,924	25	841,584	25	827,536
山梨県	38	732,378	38	746,439	37	779,521	38	761,540
長野県	47	672,853	47	687,128	47	715,564	46	712,147
岐阜県	34	755,321	33	764,465	32	804,276	34	772,303
静岡県	43	709,284	43	715,801	43	742,667	44	725,179
愛知県	21	812,369	22	817,559	24	856,316	42	742,083
三重県	39	717,386	39	728,153	40	756,065	21	845,163
滋賀県	26	779,963	27	795,070	26	840,313	26	823,333
京都府	10	898,709	9	908,469	9	951,762	14	919,231
大阪府	4	957,743	4	975,783	4	1,026,689	6	974,108
兵庫県	17	838,112	17	855,177	16	896,509	18	877,782
奈良県	23	802,521	21	820,527	22	861,348	22	838,802
和歌山県	22	807,744	18	831,310	18	871,505	23	837,831
鳥取県	28	779,529	26	795,108	30	813,969	27	809,505
島根県	30	763,848	31	774,006	29	815,512	28	809,314
岡山県	16	853,358	16	865,676	17	894,954	15	894,726
広島県	6	935,563	5	953,421	5	1,000,810	5	989,658
山口県	14	869,150	13	891,116	13	933,955	12	934,441
徳島県	20	813,568	24	816,854	21	863,284	17	884,774
香川県	15	865,827	15	877,737	15	916,353	16	888,560
愛媛県	19	813,630	19	827,632	19	863,862	20	847,557
高知県	3	958,267	3	979,779	3	1,031,170	3	1,023,040
福岡県	1	1,019,650	1	1,032,825	1	1,082,157	1	1,081,244
佐賀県	8	915,370	10	908,436	11	945,323	9	946,234
長崎県	5	944,440	6	949,214	6	991,319	4	990,014
熊本県	12	887,101	12	900,028	12	937,345	11	938,647
大分県	11	887,601	11	900,406	10	946,406	10	938,811
宮崎県	24	800,823	23	817,394	20	863,678	19	853,166
鹿児島県	9	899,530	8	915,665	8	959,378	7	958,628
沖縄県	7	918,828	7	936,799	7	987,004	8	957,931

※平成17～19年度については『平成19年度老人医療事業年報（厚生労働省HP）』より抜粋  
平成20年度については国保中央会速報値

## ○広島県における一人当たり医療費の伸び率

	実額	対前年度伸び率	(参考) 国平均
平成15年度	861,554		
平成16年度	892,851	3.6%	3.7%
平成17年度	935,563	4.8%	5.3%
平成18年度	953,421	1.9%	1.3%
平成19年度	1,000,810	5.0%	4.5%
平成20年度	989,658	-1.1%	-1.6%

※平成16・17年度は国平均に比べ低い伸び率だったが、  
平成18・19年度は広島県の伸び率が国平均を上回っている。

## 平成20年度 広島県後期高齢者医療給付費実績

	件数	保険者負担額
療養給付費	9,078,423件	255,687,311,391円
診療費	6,021,091件	210,410,159,119円
入院	298,006件	117,391,265,688円
入院外	5,174,700件	83,905,680,417円
歯科	548,385件	9,113,213,014円
調剤	3,048,255件	38,188,015,032円
食事療養・生活療養	283,395件	6,436,717,040円
医科	282,998件	6,430,831,254円
歯科	397件	5,885,786円
訪問看護	9,077件	652,420,200円
療養費等	111,706件	1,395,311,162円
食事療養・生活療養	263件	1,345,180円
療養費の支給	111,443件	1,393,965,982円
一般診療	82件	1,404,969円
補装具	8,104件	219,387,061円
柔道整復師の施術	79,950件	778,689,515円
アンマ・マッサージ	6,714件	161,713,323円
ハリ・キュウ	16,073件	230,544,742円
その他	520件	2,226,372円
移送費	0件	0円
高額療養費	398,230件	8,108,984,398円
合計	9,588,359件	265,191,606,951円

平成20年度平均被保険者数 323,967人

平成20年度一人当たり医療給付費 818,576円

※ 平成20年度実績は、平成20年4月～平成21年2月までの11か月分集計

12か月換算による平成20年度一人当たり医療給付費 897,523円

国提示の算出方法に準じた試算

国提示の指数  
〔参考〕

1 被保険者数推計

① 被保険者数対20年度伸び率（国提示）

22年度	1.068
23年度	1.107

1.068
1.107

② 20年度実績に①の伸び率を乗じて推計

20年度	実績	323,967人
22年度		345,997人
23年度		358,631人

2 1人当たり医療費推計

① H21.3月～9月実績から21年度1人当たり医療費を推計

21年度	1,032,100円/人
対前年度比	1.139

1.133
-------

② 18年度・19年度対前年度伸び率平均を22・23年度伸び率に使用

22年度	1.021	← ×1.0052	1.016
23年度	1.021		1.016

※ 伸び率は、国から1.6%の提示があったが、次のとおり国と県の伸び率に較差があるので、H18・19伸び率平均の差0.52%を加算して、2.1%で設定した。

年度	国	広島県	差	出所
H18年度	1.34%	1.91%	0.57%	厚生労働省 老人医療事業年報
H19年度	4.47%	4.97%	0.48%	
平均	2.90%	3.44%	0.52%	← 1.0344 / 1.0290 ÷ 1.0052

③ ②の22年度伸び率に診療報酬改定率1.0019を反映

22年度	1.023
23年度	1.021

④ ①21年度見込に③対前年度伸び率を乗じて1人当たり医療費を算出

22年度	1,056,069円/人
23年度	1,078,546円/人

⑤ ④で算出した1人当たり医療費の対20年度比

22年度	1.165
23年度	1.190

1.147
1.165

3 総医療費

① 2-④1人当たり医療費に1-②被保険者数を乗じて総医療費を算出

22年度	365,396,705,793円
23年度	386,800,030,526円
合計	752,196,736,319円

② ①で算出した総医療費の対20年度比

22年度	1.244
23年度	1.317

1.229
1.295

4 医療給付費

① 3-①総医療費に給付費割合見込0.9142を乗じて給付費を算出

22年度	334,045,668,436円
23年度	353,612,587,907円
合計	687,658,256,343円

給付費割合とは？

医療費総額の内、被保険者本人が負担する一部負担金等を控除した、保険者である広域連合が負担する額の割合

② ①で算出した医療給付費の対20年度比

22年度	1.260
23年度	1.333

1.233
1.299

③ ①に高額介護合算療養費見込額(354百万円)を加算

医療給付費計	688,012,256,343円
--------	------------------

費用額及び収入額算出表(県独自伸び率による試算)

費用の額の算出方法

①	被保険者に係る療養の給付に要する費用から一部負担金に相当する費用を控除した額	+	被保険者に係る入院時食事療養費の額	H20医療給付費	H22伸び率	H22高額介護合算療養費見込額	H22給付費見込み額	H22・23合計給付見込み額
				265,191,606,951	× 1.260	+ 177,000,000	≒ 334,222,668,436 円	
				H20医療給付費	H23伸び率	H23高額介護合算療養費見込額	H23給付費見込み額	
				265,191,606,951	× 1.333	+ 177,000,000	≒ 353,789,587,907 円	
				※H22・23伸び率は県独自の推計値(小数点以下第3位に端数処理して表示)				
②	財政安定化基金拠出金の額			①H22・23合計給付見込み額	財政安定化基金拠出率			619,211,031
				688,012,256,343	× 0.0009			
③	特別高額医療費共同事業拠出金の額			収入の額と同額を見込むこととなるため、算出しない。				0
④	保健事業に要する費用の額			H22健診事業費用見込み額		H23健診事業費用見込み額		139,768,000
				63,012,000	+	76,756,000		
⑤	審査支払手数料の額			H22審査支払手数料見込み額		H23審査支払手数料見込み額		2,045,610,000
				995,190,000	+	1,050,420,000		
⑥	その他の費用の額(葬祭費の支給)			葬祭費単価	H22被保険者見込み数	H23被保険者見込み数	75歳以上死亡率	支給率
				30,000 円	× (( 345,997 人 + 358,631 人 )	× 0.0571 )	× 1.0000	1,207,020,000
				※各年度被保険者見込みに死亡率を乗じ小数点以下切り捨て				
<b>費用額合計</b>								<b>692,023,865,374</b>

収入の額の算出方法

①	国庫負担金(高額医療費公費負担を含む)	費用の額①	特定費用の額	負担率	高額医療費公費負担額	162,340,081,933	
		( 688,012,256,343 - 46,187,034,550 )	× 3/12	+	1,883,776,485		
		<b>特定費用の計算式</b>					
		H20医療給付費(現役並み)	H22伸び率	H22高額介護合算療養費見込額	H22特定費用の額		
		17,774,477,914	× 1.260	+ 48,356,400	≒ 22,437,780,500		
		H20医療給付費(現役並み)	H23伸び率	H23高額介護合算療養費見込額	H23特定費用の額		
17,774,477,914	× 1.333	+ 48,356,400	≒ 23,749,254,050				
		H22・23特定費用の額合計		= 46,187,034,550			
<b>高額医療費公費負担の計算式</b>							
H20高額医療公費負担額(国庫負担分)	H22伸び率		H22高額医療費公費負担				
726,466,950	× 1.260	≒	915,086,042				
H20高額医療公費負担額(国庫負担分)	H23伸び率		H23高額医療費公費負担				
726,468,978	× 1.333	≒	968,690,443				
		H22・23高額医療公費負担合計		= 1,883,776,485			
②	調整交付金	普通調整交付金	特別調整交付金			62,234,657,855	
		44,664,594,855	+ 17,570,063,000				
	普通調整交付金	H22普通調整交付金	H23普通調整交付金	H22・23普通調整交付金			
		21,644,633,769	+ 23,019,961,086	= 44,664,594,855			
		H22費用の額	H22特定費用の額	後期高齢者負担率	H22特定費用	後期高齢者負担率	
		{ ( 334,222,668,436 - 22,437,780,500 )	× ( 1/12 + 0.1026 )	+ 22,437,780,500	× 0.1026		
		H22調整係数	H22費用の額	保険料構成比	所得係数	H22調整係数	
		× 0.8061	- { 334,222,668,436 × ( 5% + 5% × 1.00 )	} × 0.8061			
		H22普通調整交付金		= 21,644,633,769			
	特別調整交付金	H23費用の額	H23特定費用の額	後期高齢者負担率	H23特定費用	後期高齢者負担率	
		{ ( 353,789,587,907 - 23,749,254,050 )	× ( 1/12 + 0.1026 )	+ 23,749,254,050	× 0.1026		
		H23調整係数	H23費用の額	保険料構成比	所得係数	H23調整係数	
		× 0.8099	- { 353,789,587,907 × ( 5% + 5% × 1.00 )	} × 0.8099			
			H23普通調整交付金		= 23,019,961,086		
			H22特別調整交付金	H23特別調整交付金	H22・23特別調整交付金		
		8,630,429,000	+ 8,939,634,000	= 17,570,063,000			
		※特別調整交付金はH20実績をもとに県独自伸び率を加味して算出					
③	県負担金(高額医療費公費負担を含む)	費用の額①	特定費用の額	負担率	高額医療費公費負担(県負担分)	55,369,211,634	
		( 688,012,256,343 - 46,187,034,550 )	× 1/12	+	1,883,776,485		
④	市町負担金	費用の額①	特定費用の額	負担率		53,485,435,149	
		( 688,012,256,343 - 46,187,034,550 )	× 1/12				
⑤	後期高齢者交付金	費用の額①	特定費用の額	後期高齢者負担率		296,509,587,946	
		( 688,012,256,343 - 46,187,034,550 )	× { 1 - ( 0.1026 + 50/100 ) }	+			
		特定費用の額	後期高齢者負担率				
		46,187,034,550	× ( 1 - 0.1026 )				
⑥	特別高額医療費共同事業交付金	費用の額と同額を見込むこととなるため算出しない				0	
⑦	国庫補助金	H22保健事業補助金見込み額	31,505,000	+	H23保健事業補助金見込み額	38,377,000	
	県補助金						
	市町補助金						
	広域連合補助金						
	その他収入						
<b>収入額合計</b>						<b>630,008,856,517</b>	

## 保険料構成比及び保険料率算出表

### 1. 保険料構成比

- 賦課総額 = 応益保険料(均等割総額) + 応能保険料(所得割総額)
- 応益保険料(均等割総額) : 応能保険料(所得割総額) = 1 : 所得係数  
厚生労働省から示された今回試算に用いる広島県の所得係数は 1.00813502806882  
所得係数は1に近似であるため、次の割合とした。

$$\text{応益保険料(均等割総額)割合} = 50\%$$

$$\text{応能保険料(所得割総額)割合} = 50\%$$

### 2. 保険料率算出の概要

- 均等割額 =  $\text{賦課総額} \times \text{賦課割合(均等割)} \div \text{被保険者数}$   
 $62,534,041,401\text{円} \times 50\% \div 704,628\text{人} = 44,374\text{円}$
- 所得割率 =  $\text{賦課総額} \times \text{賦課割合(所得割)} \div \text{被保険者所得額総額}$   
 $62,534,041,401\text{円} \times 50\% \div 479,468,230,124\text{円} = 6.52\%$

(※賦課総額は2年度分であるため、被保険者所得額総額は標準システムから抽出した平成20年所得額総額の2倍相当を想定)

この算出数値は、賦課限度額を考慮しない理論上の数値であり、実際の算定値とは異なる。

### 3. 実際の保険料率試算処理(所得割率の補正)

保険料率の試算に当たっては、賦課限度額超過分所得を控除するため、所得割率の補正が必要になることから、後期高齢者医療広域連合標準システムの試算機能を用いる。

また、実際の被保険者情報をもとに算出するため、被保険者補正率と所得伸び率を設定する。

- 被保険者補正率 1.0457
- 所得伸び率 1.0000 所得伸び率は、国からの指示により、1.0000を設定する。

上記の補正率により、試算被保険者数及び試算所得額総額が次のとおり設定された。

- 試算被保険者数 352,303人 被保険者補正率は、小数点以下4桁までしか入力できないため、被保険者数推計値平均(352,314人)との間に、誤差が生じる。
- 試算所得額総額 239,734,115,062円

上記の試算用数値を使用し、平成22年度分保険料率を以下のとおり試算した。

- 均等割額 =  $\text{賦課総額(1年分)} \times \text{賦課割合(均等割)} \div \text{被保険者数}$   
 $31,267,020,701\text{円} \times 50\% \div 352,303\text{人} = 44,376\text{円}$
- 所得割率 =  $\text{賦課総額(1年分)} \times \text{賦課割合(所得割)} \div \text{所得金額の合計額}$   
 $31,267,020,701\text{円} \times 50\% \div 239,734,115,062\text{円} = 6.52\%$
- 補正後の所得割率 8.09%

**【所得割率の補正】**  
賦課限度額(50万円)超過分を、他の被保険者の保険料で負担するため、超過分を所得割率に上乘せする。

新保険料率試算結果の比較

		第2回運営審議会提示(H21.11.10)		第3回運営審議会提示(H22.2.16)		
		国が示す 医療給付費伸び率 (H22:1.211 H23:1.280)	県独自の 医療給付費伸び率 (H22:1.292 H23:1.404)	県独自の医療給付費伸び率 (H22:1.260 H23:1.333)		
				剰余金なし	剰余金活用	剰余金+基金活用
		費用	医療給付費等総額	660,592,292,915	714,956,572,340	688,012,256,343
	財政安定化基金拠出金	594,533,064	643,460,915	619,211,031	619,211,031	619,211,031
	特別高額医療費共同事業拠出金	0	0	0	0	0
	保健事業に要する費用	141,036,000	141,036,000	139,768,000	139,768,000	139,768,000
	審査支払手数料	2,219,167,000	2,219,167,000	2,045,610,000	2,045,610,000	2,045,610,000
	その他の費用	1,156,646,304	1,156,646,304	1,207,020,000	1,207,020,000	1,207,020,000
	計(I)	664,703,675,283	719,116,882,559	692,023,865,374	692,023,865,374	692,023,865,374
収入	国庫負担金	155,723,225,340	168,538,665,402	162,340,081,933	162,340,081,933	162,340,081,933
	調整交付金	59,908,841,113	64,837,837,687	62,234,657,855	62,234,657,855	62,234,657,855
	都道府県負担金	53,003,880,601	57,365,902,088	55,369,211,634	55,369,211,634	55,369,211,634
	市町村負担金	51,359,672,369	55,586,381,657	53,485,435,149	53,485,435,149	53,485,435,149
	後期高齢者交付金	284,657,489,446	308,083,738,076	296,509,587,946	296,509,587,946	296,509,587,946
	特別高額医療費共同事業交付金	0	0	0	0	0
	国庫補助	70,516,000	70,516,000	69,882,000	69,882,000	69,882,000
	剰余金繰入額	0	0	0	1,085,215,000	1,085,215,000
	財政安定化基金交付金額	0	0	0	0	2,526,859,000
	計(II)	604,723,624,869	654,483,040,910	630,008,856,517	631,094,071,517	633,620,930,517
	(a)保険料収納必要額(I-II)	59,980,050,414	64,633,841,649	62,015,008,857	60,929,793,857	58,402,934,857
	(b)予定保険料収納率	99.17%	99.17%	99.17%	99.17%	99.17%
	(c)賦課総額(a/b)	60,482,051,441	65,174,792,426	62,534,041,401	61,439,743,730	58,891,736,268
	前回算定時からの伸び率	12.09%	20.79%	15.90%	13.87%	9.15%
	(d)平成22・23年度被保険者数推計	710,461人	710,461人	704,628人	704,628人	704,628人
	(e)一人当たり年間保険料額(c/d)	85,131	91,736	88,748	87,195	83,578
	前回算定時からの伸び率	5.19%	13.35%	9.65%	7.74%	3.27%
	<b>均等割額</b>	<b>42,565</b>	<b>45,868</b>	<b>44,376</b>	<b>43,599</b>	<b>41,791</b>
	(不均一保険料率)	39,692	42,772	41,381	40,657	38,971
	<b>所得割率</b>	<b>7.72%</b>	<b>8.46%</b>	<b>8.09%</b>	<b>7.92%</b>	<b>7.53%</b>
	(不均一保険料率)	7.20%	7.89%	7.55%	7.39%	7.03%
	平成22年度一人当たり保険料額(軽減後)			67,702	66,527	63,801
	平成21年度からの伸び率			12.26%	10.31%	5.79%

試算システム帳票が対応して  
いなかったため未算出。

(参考)

平成20・21年度賦課総額	53,956,939,980
平成20・21年度平均保険料額	80,934
平成21年度一人当たり保険料額(軽減後)	60,310
平成20・21年度均等割額	40,467
平成20・21年度所得割率	7.14%



## 新保険料率算定に係るこれまでの経過

年月日			国の指示・指導項目等	広域連合における対応等
21	7	1	○新保険料率算定に係る国のスケジュールの提示	○第1回運営審議会 ・新保険料算定の概要, スケジュールの説明
21	7	27		
21	9	4	○新保険料率の算定に係る数値の提示(第1回) ・被保険者数伸び率, 医療給付費伸び率, 調整交付金算定に係る補正係数, 後期高齢者負担率 ○賦課総額算出方法の提示	○試算準備 ・賦課総額算定に係る基礎数値の見積作業 ・試算に用いる伸び率の検討 ○標準システムによる試算(その1) ・国基準, 県独自伸び率の二通りで試算
21	10	26	○保険料の上昇抑制措置の検討, 提示 (1) 平成20・21年度における広域連合剰余金の活用 (2) 国庫補助金の交付検討 (3) 県及び市町からの財源補填 ○新保険料率の算定に係る数値の提示(第2回) ○試算結果の報告依頼(第1回)	○標準システムによる試算(その2) ・10月26日付け国提示値と県独自の二通りの伸び率で試算 ○第2回運営審議会 ・国基準, 県独自伸び率の二通りで試算した結果について中間報告 ○試算結果報告(第1回) ○標準システムによる試算(その3) ・以後, 県独自伸び率を使用し, 剰余金なし, 剰余金充用, 剰余金+基金充用の三通りで試算
21	11	10		
21	11	19	○保険料上昇抑制措置の実施要請(県・広域連合) (1) 広域連合剰余金(平成20・21年度)の全額充用 (2) 財政安定化基金の充用 (3) 財政安定化基金の積み増し, 充用 (4) 県及び市町からの財源補填 ○新保険料率の算定に係る数値の提示(第3回) ○試算結果の報告依頼(第2回)	○県独自伸び率の見直し ○所得係数の暫定値算出 ○試算結果報告(第2回) ○試算結果報告(第3回)
21	11	27	○調整交付金算定に係る基礎数値報告依頼 ○試算結果の報告依頼(第3回)	
21	11	30		
21	12	22		
21	12	25	○新保険料率の算定に係る数値の提示(第4回) ・診療報酬改定率についても合わせて提示	○試算結果報告(第2回) ○試算結果報告(第3回)
22	1	7	○新保険料率の算定に係る数値の提示(最終) ○保険料上昇抑制措置の県協議結果を反映した最終試算結果の報告依頼	○県独自伸び率の再見直し ○標準システムによる試算(その4)
22	1	14	○全国の保険料率算定状況中間報告(中四国ブロック会議)	
22	1	19		○正副連合長会議における新保険料率検討状況の説明
22	1	22		○市町担当課長会議における新保険料率検討状況の説明
22	2	3		○議員全員協議会における新保険料率検討状況の説明

**保険料増加見込**  
 約10.4%を提示  
**【要因】**  
 ・一人当たり医療給付費の伸び  
 (約3.2%)  
 ・後期高齢者負担率の上昇  
 (約2.6%)  
 ・医療給付費算定期間の増加  
 (約4.3%)

**保険料増加見込**  
 約13.8%を提示  
**【要因】**  
 ・一人当たり医療給付費の伸び  
 (約4.3%)  
 ・後期高齢者負担率の上昇  
 (約2.6%)  
 ・医療給付費算定期間の増加  
 (約4.3%)  
 ・所得の減少  
 (約2.0%)

**保険料増加見込**  
 約14.2%を提示  
 ・一人当たり医療給付費の伸びの修正  
 (約4.3%⇒  
 約4.6%)